



Phore Masternode セットアップガイド

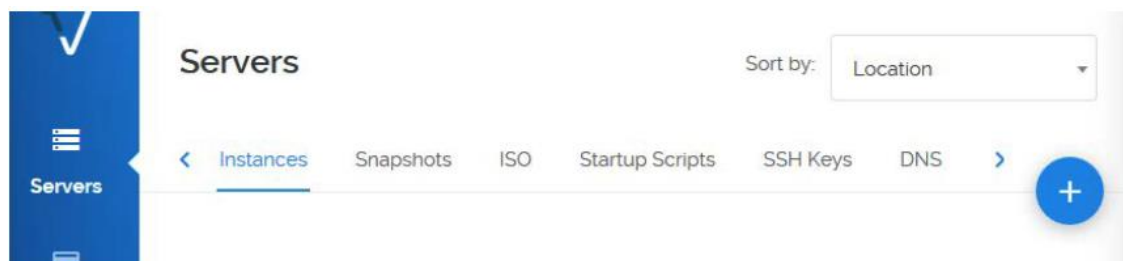
必要なもの

1. Windows の PC
2. VPS のような固定 IP を持つリモートサーバー
3. VPS の設定ができる Teraterm
4. 10,000PHR

ここでは複数のマスターノードの構成が簡単な Vultr を例として説明します。

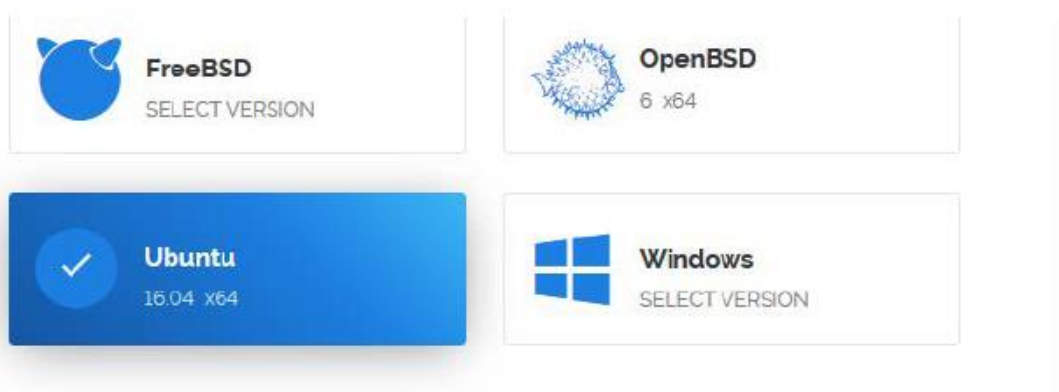
<https://www.vultr.com>

まずは Vultr でアカウントを取得し、VPS を契約しましょう。

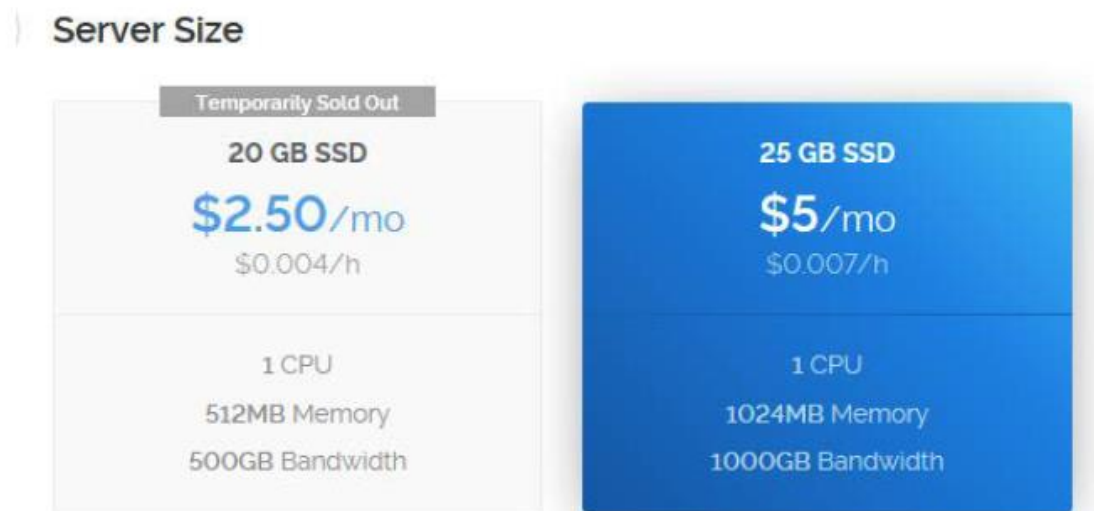


Server Location ではどこを選択してもかまいません。

Server Type は Ubuntu 16.04 x64 を選択しましょう。



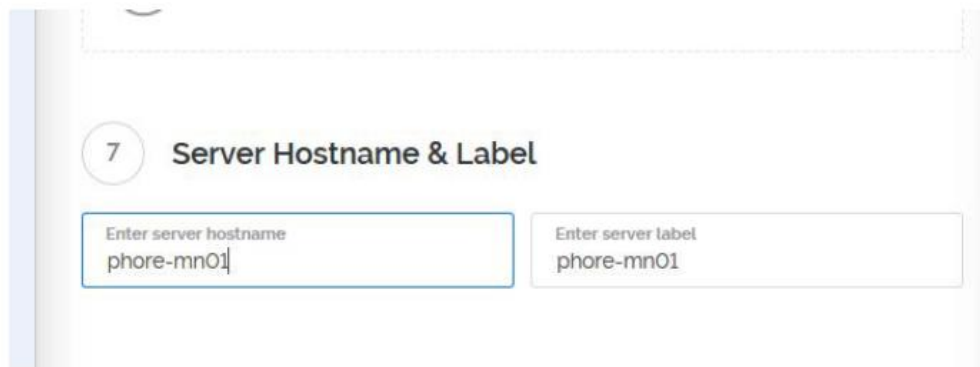
Server Size は 1GB のオプションを選択します(注:ここでは VPS のサーバー上でコンパイルする都合を考えているため 1GB を選択していますが、そうでない場合は 512MB を選択されても大丈夫です)。



この時点で SSH key を設定できます(root に対して)が、ここでは不要です。

最後に Server Hostname & Label を決定します。

複数立てることを考慮し、phore-mn01 としておきます。

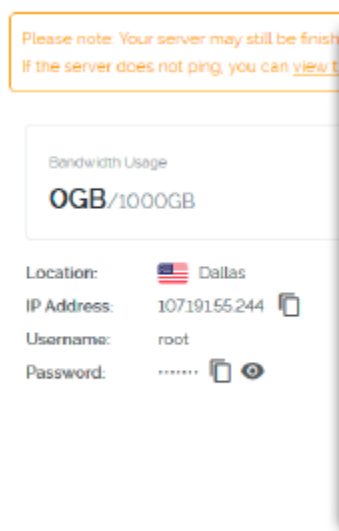


7 Server Hostname & Label

Enter server hostname
phore-mn01


Enter server label
phore-mn01


これでサーバーの契約が完了しました。すぐに新規サーバーの情報が更新されます。





Please note: Your server may still be finishing setup.
If the server does not ping, you can view the status page.

Bandwidth Usage
0GB/1000GB

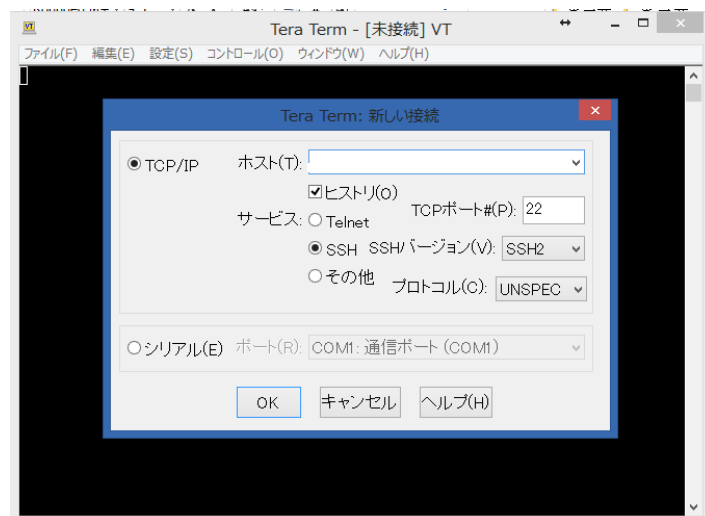
Location:  Dallas

IP Address: 107.191.55.244 

Username: root

Password:  

契約した VPS サーバーが instance のタブをクリックすれば表示されると思いますので、詳細情報を表示し、IP アドレスを使ってログインをしましょう。Teraterm を起動して、VPS の IP をホスト欄に入力し、OK ボタンを押しましょう。



ホストの認証情報が〜というウィンドウが立ち上がった場合、OK を押してください。

これから VPS で phore のクライアントを実行するにあたって必要な下準備をしますので、以下の緑文字コマンドを一行ずつコピーペーストし、エンターを押してください。Teraterm では文章をコピーした後にウィンドウ内を右クリックすることでペーストできます(もちろん手入力でも大丈夫です)。

```
sudo apt-get update
sudo apt-get upgrade
sudo apt-get dist-upgrade
sudo apt-get install -y nano htop git wget
```

ここまででサーバーのアップデートおよび下準備は完了です。
ファイアウォールの設定も行いましょう。

```
sudo apt-get install -y ufw
sudo ufw allow ssh/tcp
sudo ufw allow 11771/tcp
sudo ufw enable
```

ファイアウォールで解放したポートの一覧は(`sudo ufw status`)で確認できます。
次にLinux用のウォレットをダウンロードします。

(URL:

[https://github.com/phoreproject/Phore/releases/download/v1.3.2/phore-1.3.2-x86_64-linux-gn
u.tar.gz](https://github.com/phoreproject/Phore/releases/download/v1.3.2/phore-1.3.2-x86_64-linux-gnu.tar.gz) を使います)

次のコマンドを入力してください。

```
wget https://github.com/phoreproject/Phore/releases/download/v1.3.2/phore-1.3.2-x86_64-linux-gnu.tar.gz
```

メーターが 100%になったら、自動的にコマンド画面に戻るはずです。戻ったら次のコマンドを入力しましょう。

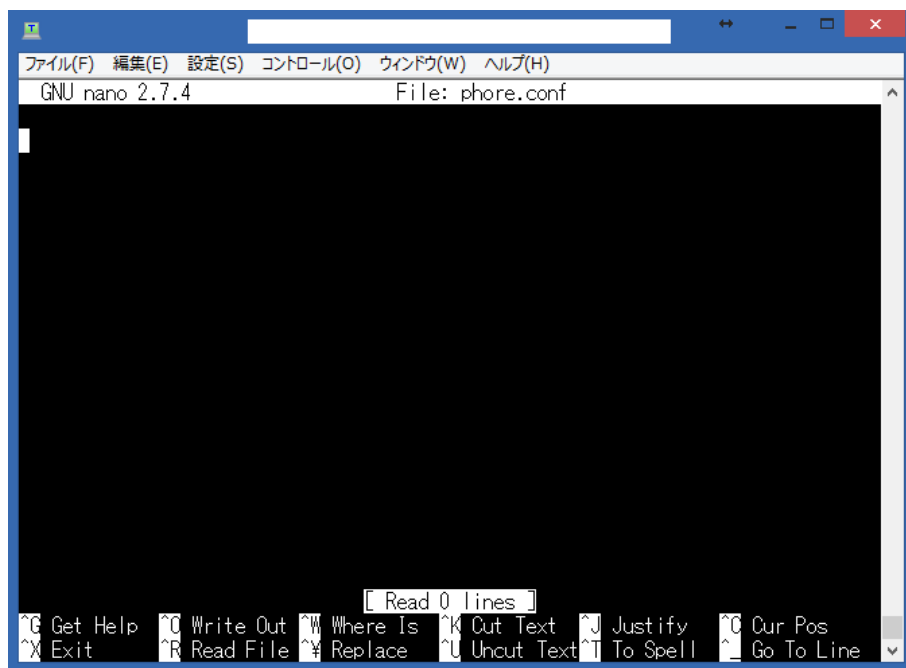
```
tar -xvzf phore-1.3.2-x86_64-linux-gnu.tar.gz
cd phore-1.3.2/bin
sudo mv phore* /usr/local/bin
```

ここまででウォレットのインストールが完了しました。

次にウォレットの設定を行います。次のコマンドを入力してください。

```
phored -daemon
(rpc~~というエラーが出ます)
nano .phore/phore.conf
```

このコマンドを入力した後、次のような画面に切り替わるはずです。これは正常ですので、このまま読み進めてください。



nano エディタの使い方

1. 変更したい個所に方向キーでカーソルを持っていく
2. 入力、編集をする
3. 終了する場合→Ctrl+X 同時押し(保存するときもしないときも)
4. Save modified buffer?と聞かれるので Y を押し、次に File Name to write と聞かれるのでそのままエンターキーを押し保存する(コマンド画面に戻ります)

次の内容を記入し、保存してください。

rpcuser=適当なユーザー名

rpcpassword=適当なパスワード(ユーザー名と同じではいけません)

rpcallowip=127.0.0.1

server=1

listen=1

daemon=1

これで設定が完了したので、ウォレットを起動してみましょう。

phored -daemon

これにより phore のウォレットが起動し、同期が始まります。(Starting Server と表示されるはず) 同期の状態は

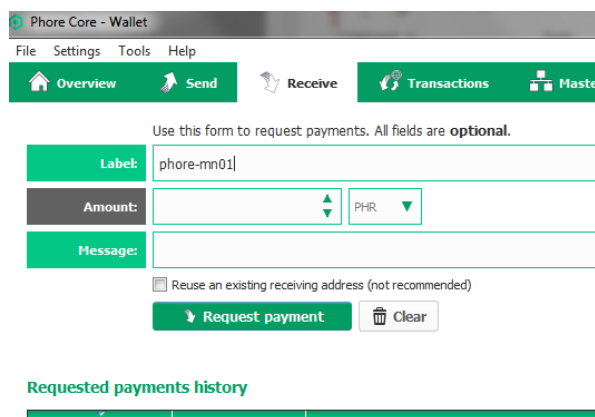
phore-cli getinfo

と打つことで確認できます。同期をしている間に、Windows 用の Phore ウォレットを導入しましょう。 <https://phore.io/#wallet> よりダウンロードしてください。

Windows ウォレットでの Masternode の設定

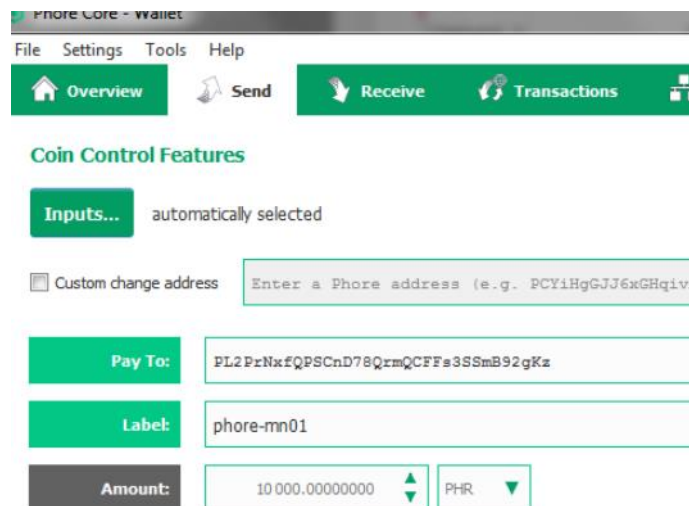
ステップ 1

Phore-qt を起動しマスターノード用のアドレスを生成しましょう。Receive タブを表示してください。Label にアドレスの名前を記入し、Request payment ボタンを押してください。





こんなウィンドウが出てくるはずです。Copy Address ボタンを押してから、Close ボタンを押しましょう。これでアドレスがコピーできたので、Send タブへ移動してコピーしたアドレスを Pay To: の入力欄へペーストします。



送金量にはぴったり 10,000PHR を指定してください。入力完了したら、Send ボタンを押して、送金しましょう。ブロックチェーン上での送金の確認のため、1~2 分ほど待ちましょう。その間に、次のようなテキストファイルを新しく作りましょう。マスターノードの情報の一時記録用です。

+++++

MN ラベル:

新しく作ったアドレス:

MN プライベートキー:

VPS の IP:

例

```
phore-mn1 107.131.25.434:11771 877xxxxxxxxxxxxxcKe 64bc9xxxxxxxxxxxxxxxxxx23 0
```

このように入力したら、保存しましょう。保存ができれば、次はローカルウォレットでのphore.confの設定をしましょう。[Tools > Open Wallet Configuration File] から開けます。次のように入力して保存してください。

```
rpcuser=<long random username>
rpcpassword=<longer random password>
rpcallowip=127.0.0.1
listen=0
server=1
daemon=1
logtimestamps=1
maxconnections=256
```

保存が完了したら、ウォレットを再起動してください。

最後に、Linuxのウォレットについてマスターノードの設定を行います(Teratermを開いてください)。次のコマンドを入力し、設定ファイルを開きましょう。

```
./phore-cli stop
nano .phore/phore.conf
```

次の内容を入力し以前と同様の手順で保存してください。

```
logtimestamps=1
maxconnections=256
masternode=1
externalip=<VPS の IP アドレス>
bind=<VPS の IP アドレス>
masternodeaddr=<VPS の IP アドレス>:11771
masternodeprivkey=ステップ 2 の結果(プライベートキー)
```

```
GNU nano 2.5.3 File: /.phore/phore.conf

rpcuser=phore4fgW3578rFsF3sc3poDSVVDSs
rpcpassword=GFyhjFffrf3567nbdFdfadt63fcignWcvYHVseTv
rpcallowip=127.0.0.1
listen=1
server=1
daemon=1
logtimestamps=1
maxconnections=256
masternode=1
externalip=107.131.25.434
bind=107.131.25.434
masternodeaddr=107.131.25.434:11771
masternodeprivkey=88xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx7K

^G Get Help ^O Write Out ^W Where Is ^R Cut Text ^J Justify
^X Exit ^R Read File ^\ Replace ^U Uncut Text ^T To Spell ^C
```

全部入力すると上のようになるはずです。それでは保存し、次のコマンドを入力しましょう。

`phored -daemon`

Server Starting…と表示されるので、30 秒ほどした後に次のコマンドを入力してください。

`phore-cli getinfo`

すると

```
{
  "version" : 1010000,
  "protocolversion" : 70002,
  "walletversion" : 61000,
  "balance" : 0.00000000,
  "zerocoinbalance" : 0.00000000,
  "blocks" : 119410
  "timeoffset" : 0,
  "connections" : 4,
  "proxy" : "",
  "difficulty" : 55081.20347808
  "testnet" : false,
  "moneysupply" : 11383323.47511478
  ...
}
```

のような表示が出ます。これはウォレットの同期の状況を表しています。同期が完了するまでマスターノードをスタートできないので、しばらくお待ちください(blocks の数字を確認してください)。

現在の同期の状況は、

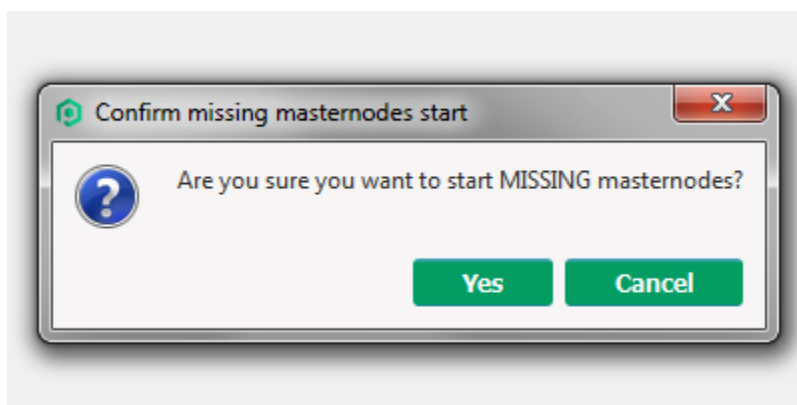
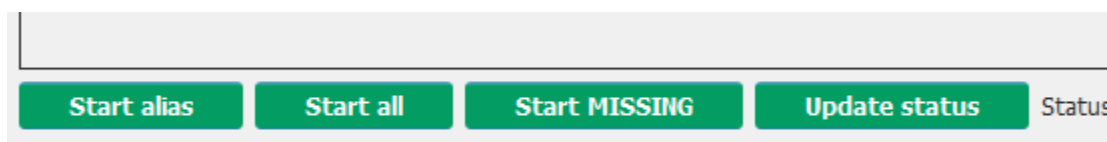
`phore-cli getinfo`

と Teraterm でコマンドを入力することで上の形で得られます。デスクトップウォレットの右下のチェックマークにマウスカーソルを合わせることで、



現在のブロック数がわかるはずですが、ブロック数が同じになったら、いよいよマスターノードをスタートさせましょう。ウォレットのロックを解除した後、Masternode タブを開いてください。

実行させたいマスターノードをクリックしてください(ハイライトされて選択を確認できます)。その後 Start alias か Start MISSING ボタンを押してください。



このようなウィンドウが出たら、Yes を選択してください。

マスターノードの起動に成功した場合 successfully started と表示されるか、そのままウォレットに戻ります。もしエラーを受け取ったら、デバッグコンソールを開き

`startmasternode alias false` マスターノードの名前

と打ちましょう。成功すれば以下のように表示されます(マスターノードの名前は `phore-mn01` など `masternode.conf` の一番最初の項のことです)。

```
{
  "overall": "Successfully started 1 masternodes, failed to start 0, total 1",
  "detail": {
    "status": {
      "alias": "phore-mn01",
      "result": "successful"
    }
  }
}
```

マスターノードの実行の様子は Masternode タブで確認できます。

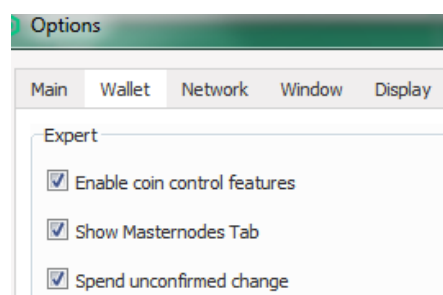
in local wallet can potentially be slightly incorrect.
Additional data and then double check from another node
you still see "MISSING" in "Status" field.

Address	Protocol	Status	Active	Last Seen
...771	70001	ENABLED	00m:00s	2017-09-28 19:

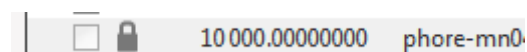
起動した直後、Active 時間は増えませんが、3 時間ほど後に見ていただければ変化しているはずです。
マスターノードは VPS 上で自動的に動作しているので、Windows 上のウォレットは閉じてかまいません。

最後に担保として使用している 10,000PHR がロックされていることを確認しましょう。

まず Coin Control 機能を有効化するため、[Settings > Options > Wallet] より Enable coin control features にチェックを入れてください。



その後 Send タブに戻っていただければ、新しく Inputs... というボタンが追加されています。これを押してください。



ロックされていれば、上図のような表示になっているはずです。もしロックされていなければ、10000PHR の部分を右クリックして、Lock Unspent を選択することでロックできます。逆にロックを外したければ、右クリックして Unlock Unspent を選択していただくことでロックを解除できま

す。

複数マスターノードを実行されたい場合には、それぞれ別の VPS サーバーを用い、別の IP、別のアドレス、別のプライベートキーを使って同様の手順で構成できます。

もし起動しなければ、discord の日本人チャンネルにいる liray までご連絡下さい。自分は日本人なので、言語の壁もなく対応できます。

良いマスターノードライフをお楽しみください。

FAQ

- マスターノードの数はどうやってわかるの？
デバッグコンソールにて “masternode count” と入力してください。そこで出力された数がマスターノードの数です。
- 一気にマスターノードを起動したい。
“startmasternode all false” とデバッグコンソールで入力してください。Masternode.conf 内のすべてを実行します

ご不明点があれば何なりとご質問ください。Discord の Phore チャンネルの日本語チャンネルにてお待ちしております。

<https://discord.gg/Aucncz5>

<https://phore.io/>